北海道中学校体育大会　代理監督制の導入について

(スピードスケート)

北海道中学校体育連盟

地域で練習している選手が、他校の先生（中学校　校長・教員）から指導を受け練習に励んできたが、全道大会に出場の際、今まで指導していただいた先生の学校からは全道大会への出場選手が不在となり、教えをいただいていた選手が全道大会時に不利益(滑走中における技術指導及びラップ掲示)を被る状態となるので、代理監督制の導入を認める。（外部指導者には、中学校校長・教員はなれない実情がある）

【導入条件および注意事項】

〔1〕代理監督制は、スピードスケートに限る。

〔2〕引率においては、開催要項に載っている　当該学校の校長･教諭とする。

〔3〕代理監督は、当該校の校長と北海道中体連及び北海道中体連専門委員会が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の所属長（校長）と本人に文書にて依頼する。

［4］選手において、外部指導者が不在で、全道大会においてコーチングできない学校に限り、代理監督を認める

〔5〕手続きは、様式 1，2，3，4，5，をもって行う。

［6］申込み申請は、大会申込み締切前に実行委員会へ提出とする。

［7］他の個人競技における代理監督制は、この制度における趣旨を理解し、違反者が出ないことが確認でき次第認める方向とする。

※スピードスケートにおいては、全道大会参加監督に代理監督を委ねることができる。

平成 27 年 10 月 16 日常任理事会提案

平成 27 年 11 月 6 日理事会提案・施行